南砺利賀みらい留学

はつうま通信

2021年　12月22日　発行

はじめに

雪は積もり始め、冷え込みも強くなってきて、利賀村の冬の厳しさを感じ始めた今日この頃。見慣れぬ雪景色に興奮しつつ、雪の量に圧倒される日々です。「利賀の雪はこんなものじゃない」という地域の方の言葉を聞いて、いったいどうなってしまうのかと冬本番の到来に不安を感じていながらも、これからどのような景色が待ち構えているのだろうと楽しみな部分もあります。

振り返ると４月からあっという間に９か月が過ぎ、修園という１年の節目が徐々に見えてきました。これまでの山村留学生活を通して、留学生たちは何を感じ、何を得て、どのようにそれらを自分なりに価値づけしているのだろうか。苦手としていたことを克服すること、今までにやったことないことを経験すること、これまでの自分から変わろうとすることなど自分のためになることを積み重ねてきていると感じる一方で、時間を守る、部屋の片付けをするといった基本的なことができていない場面がまだあります。修園に向けてこういう自分になっていたいという目標を掲げ、そこに向かって足を進めている人もいれば、こういう学園にしたいという思いをもって集団を良くしていこうとする人もいます。個人で、集団でそういった思いを実現し、成長していく姿を、時には支えながら、見守っていこうと思います。

２学期も活動のご指導をいただいたり、道具を貸していただいたりとたくさんの方々のお力添えがあり、様々な活動ができ、無事に普段の生活も送ることができました。利賀地域の皆さまの日頃のご助力に感謝いたします。ありがとうございました。

良いお年をお迎えください。

山本　将寛

《11・12月の活動カレンダー》

11月

25日　ホームステイ開始

12月

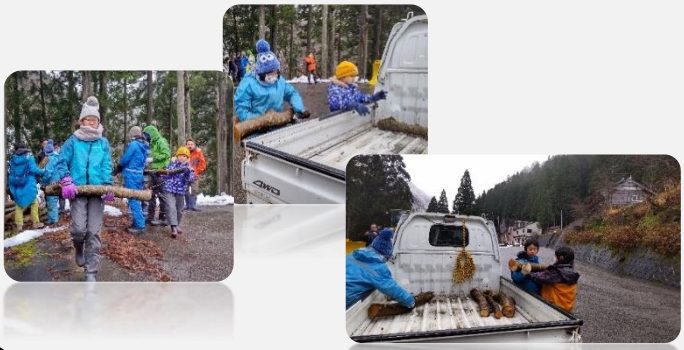
3日　センター入り
4日　原木の運び出し、薪割り体験
5日　個人体験活動日
11日　誕生日会
12日　大掃除
14日　ホームステイ開始
20日　センター入り
23日　帰省

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

１２／４　原木の運び出し・薪割り体験

来年度春にキノコを植菌するための原木を切り出す予定でしたが、荒天だったため活動は中止に。地域の方から切り出した原木を分けていただけることになり、原木の運び出しを行いました。１人１本～２本の原木を運び出して作業は終了。

その後ご厚意で鉞（まさかり）を使っての薪割り体験をさせていただきました。刃に重さがあるためなかなかコツが掴めず「重いー！」「当たらない！」と四苦八苦していました。冷たい冬の雨とみぞれが降り頻る中での活動でしたが、４０分程作業をしました。



１２／５　個人体験活動日

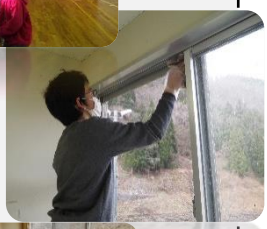
この日は、それぞれ興味のあることに取り組む個人体験を行いました。センターの周りでは火起こしをしての調理や、わずかに積もった雪でのかまくら作りなどに人が集まり、賑やかで穏やかなひと時に。地域のお店のお手伝いや、指導員と一緒に歩く活動、栃餅をつく会にお邪魔させてもらった人もいて、一人一人が「楽しかったよ！」と満足気な表情で帰って来ていました。引き続き、年度末や次年度に向けて、それぞれの活動を続けていく予定です。

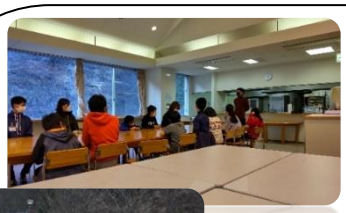
１２／１１　誕生日会

午前中からお昼にかけて、２学期誕生日の４人を祝う誕生日会を行いました。今回の誕生日会の企画運営は、全て小学生。何日も前から、食事のメニューやプレゼントの誕生日カード、プログラムなどを相談し合って準備しました。食事はたこ焼き、ポタージュ、から揚げ、デザートと分担して作り、また、近所の「うまいもん館」から手打ちそばもいただいて、贅沢なメニューをお腹いっぱいいただきました。最後にはトナカイとサンタクロースが登場する小学生からのサプライズも！手作りのクリスマスプレゼントを皆に配ってくれました。終始テンポよく進行し、楽しい時間になりました。

１２／１２　大掃除

１年の締めくくり、そして新年を迎え入れる準備としてセンターの大掃除をしました。初めは「えぇ、大掃除か…」「いやだな…」という雰囲気が漂っていたものの、いざ始まると集中して取り組んでいて、中には自分なりに掃除のやり方や手順を考えたり、きれいになっていくことに嬉しさをにじませたりして、楽しそうに掃除に取り組んでいました。自分の担当の掃除が早く終われば「手伝うことある？」と聞いて、他の人の手伝いに入り、みんなで力を合わせて作業を進め、センターをきれいにしました。





見学・体験留学

２学期後半は、次年度に向けて、山村留学参加希望者の見学や体験留学が始まりました。希望者は保護者と一緒に実際に利賀へ足を運び、村内や学校を見学したり、現留学生と一緒に活動に参加したりしています。現留学生も、どんな子が来てくれるのか、ドキドキワクワク。センターを訪れた子どもたちや保護者へ「何年生？」「こっちですよ！」と積極的に交流を図っていました。参加した留学希望者や保護者からは「やっぱり寒いですね！」「皆優しくて安心しました」と実感を持った感想が届いているところです。

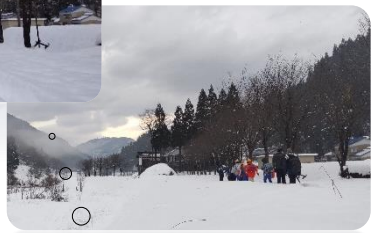
〈　日常の様子　〉

収穫祭慰労会として
バーベキューを行いました！

朝の集いで、
木の枝に付いた
霜を観察

積雪に感動する留学生たち
雪だるまを作り、一緒に記念撮影

鴨汁を堪能中



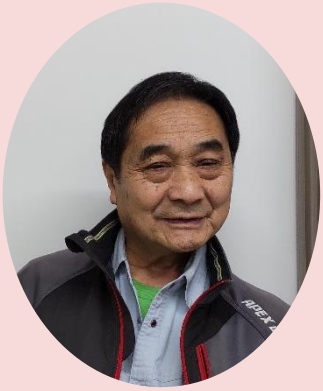
踏み固めた雪の上を
歩いて登下校

利賀みらい留学に寄せて

利賀みらい留学が始まって、９ヶ月が終わろうとしております。
10 名の元気な留学生の日々の活動を垣間見ながら、大自然のふところに抱かれたこの地でどんな思い出をつくり、夢を描くのかと思うと、地域で見守る私たちも関心を持たずにはおれません。

縁があって民謡等を指導していますが、見たことも聞いたこともない唄や踊りにとまどいもあったと思いますが、しっかりと覚え、立派に発表してくれたことや、収穫祭で演じた太鼓のバチさばきに感動しました。今後もこの地で学び、遊び、他ではできない体験をしてほしいものと想っております。

まずは元気で１年間を終えることを願っています。



野原　哲二　さん
（ 利賀地域づくり協議会長 ）

私が、南砺市山村留学事業に関わらせて頂いたのが、令和元年でした。二年間の会合の終盤では、「いよいよ始まる～」とハラハラドキドキしたことが記憶に残っています。春に開園した山村留学センターで、現在１０名の子ども達と私の関わりは、そんなに深いことはないのですが、主に春から秋にかけて、食事の調理補助や職員が欠ける時には、お泊りにも参加させて貰っていました。一緒に食事をしたり会話をしたりと楽しい時間でした。特に、誕生会の準備では、調理や会の進行は指導員さんや明美さんに教えて貰いながらも、主導は子ども達で一生懸命取り組む姿に、感激でした。

土日になっても、地域の方との交流やセンター行事に参加して、少々難しいことがあっても、弱根を吐かず最後まで諦めずに励む姿に、「頑張ってるな～」「頑張れよ！」と心でエールを送っておりました。

私は、月に一・二回程、センター内の清掃に入っています。特に、トイレや水回り担当で、民泊から戻って来た子ども達に、気持ちよく使って貰えるようにと心がけています。寒いのは苦手ですが、動くことで身も心も温かくなってきますよ。子ども達の笑顔が嬉しいから励めます。

窪田　芳江　さん
（ 調理員、指導補助 ）

《くま爺のつぶやき》

南砺利賀みらい留学
統括主幹　山本

４月、村にやってきた子どもたちがセンターで一緒に食卓を囲む日を指折り数えてみた。今日まで 150 日、「食べる姿勢や箸の持ち方」、「食べ物を無駄にしない」、「分け合うこと」等、留学生個々の年齢や個性に配慮しながらもビシビシと遠慮なく伝えてきた。その甲斐あってか、最近見学者等からお褒めの言葉をいただくことが多くなってきた。嬉しい。いや、まだまだ。好みのおかずやデザートのおかわりしようと慌てて早食いする癖は治らない。咀嚼せずに飲み込める料理だといつもの倍以上炊いたご飯が足りなくなり、センターのお母さんを慌てさせる。何とかしなければ。ところでいつまでも健康で単身赴任を続けてほしい妻からたまに健康増進自炊レシピが届く。最近、ボケ防止のため噛み応えのある固い物をとメールが。毎日の晩酌にスルメを噛むことにした。